

「第28回ちがうことこそすばらしい!子ども作文コンクール」開催要項

1. 事業名 「第28回ちがうことこそすばらしい!子ども作文コンクール」
～多文化共生社会を切り拓く子どもたちの主張～

2. 趣 旨

「国際化」と言われて久しい日本社会で今、多くの日本の学校でさまざまな背景とそれぞれの固有の文化をもつ子どもたちが、日本人の子どもたちといっしょに学校生活を送っています。

その子どもたちは、韓国・朝鮮にルーツのある子どもたちや中国から帰国する残留日本人の家族、日本に研究留学するアジアからの留学生の家族や働くことを目的とする日系人の家族であったりします。

しかし、この子どもたちを迎える日本の社会と学校は、このような多文化で多様な価値観をもつ人々と真の意味で共生する経験を十分に積み重ねていません。さまざまな文化的・言語的な背景をもつ子どもたちが、日本の学校で日本人の子どもたちに囲まれて生活するには、大変な苦勞と悩みがともないます。異なるものを受け入れられず、時には排除しようとするまわりの意識を感じ、みんなと同じようにふるまうことを良しとされ、本当の自分を出せずに、悩み苦しんでいる子どもたちの姿が見え隠れしています。

それゆえ、さまざまな外国にルーツをもった子どもたちが自分自身の思いを綴ることには大きな意味があります。

また、そのことによって、まわりの仲間やおとなたちに自らの思いや考えを伝えていくことができます。このことは、自分の進路を切り拓いていくためにも大切なことだと考えます。

この子どもたちの思いを受けとめることで、日本の社会や学校がさまざまなちがいを理解し、多文化共生社会をめざすことを願ってこの事業を開催します。

3. 主 催 全関西在日外国人教育ネットワーク（略称：「関西ネット」）
<事務局と構成団体>

【本年度事務局】

- ・全国在日外国人教育研究協議会京都(全外教京都)
〒604-0867 京都市中京区常真横町190-5 N.H.Kビル3F

【構成団体】

- ・大阪府在日外国人教育研究協議会
〒594-0082 和泉市富秋町2-2-89 和泉市立富秋中学校内
- ・兵庫県在日外国人教育研究協議会
〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館1階
- ・奈良県外国人教育研究会
〒630-8133 奈良市大安寺1-23-1 奈良県人権センター内

■共催 (公財)京都市ユースサービス協会

4. 後援申請先 (予定を含む)

京都府教育委員会 京都市教育委員会 (公財)京都市国際交流協会 (公財)京都府国際センター
奈良県教育委員会 兵庫県教育委員会 (公財)兵庫県国際交流協会 (公財)神戸国際コミュニティセンター

5. 応募資格 2023年7月現在、日本で生活する小学生・中学生・高校生(国籍・言語は問いません)

6. 作文内容 さまざまな国や地域にルーツをもった子どもたちが、自分を取りまく仲間、学校、社会から感じ、考えた思いを綴ったもの。
日本語、中国語、韓国・朝鮮語等 4000 字もしくは欧文 2000 語以内。個人創作で未発表のもの。一人につき 1 点。
7. 応募方法 別紙「応募申込書」に、作品題名、名前(※注)、学校名、学年、年齢、国籍、ルーツ、窓口となる校内担当者名、学校所在地等を明記して応募してください。
応募作品は、できるだけワード・一太郎等を入力したデジタルデータで提出してください。様式、使用言語は自由です。
なお、著作権は主催者に属し、入賞作品は作者名を含めて、構成団体の通信等に掲載したり、教材として活用されたりすることがありますのでご了承ください。
応募作品は返却しません。
※名前には読み方をつけ、民族名がある場合は必ず民族名も記入してください。
8. 応募先 各府県事務局あて
9. 応募期間 2023 年 7 月 18 日～9 月 30 日 (必着)
10. 審査発表 2023 年 11 月中旬 (審査結果を連絡します)
11. 入賞作品発表会
- ・日 時 2023 年 12 月 9 日 (土) 13 時受付 13 時 30 分開会 16 時 30 分閉会予定
 - ・会 場 京都市伏見青少年活動センター(スポーツルーム A)
〒612-8062 京都市伏見区鷹匠町 39-2 伏見区総合庁舎 4F
TEL: 075-611-4911
 - ・交 通 近鉄京都線・京阪本線「丹波橋」駅西口より西へ約 700 m
西口階段をおりて直進。小学校につきあたらたら左折。
信号を渡り、直進すると右手に総合庁舎があります

※諸状況により、開催方法について変更する可能性があります。その際は、ご連絡いたします。

12. 表 彰 小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校 各部門別各 5 名程度
(入賞者には、賞状及び副賞として図書券等を進呈します)
13. 審査方法 主催者が依頼した学識経験者、構成団体の関係者による審査委員会に選考を委嘱します。
<審査員> ・榎井 縁 (大阪大学)
 ・橋崎 頼子 (奈良教育大学)
 ・野津 隆志 (元・兵庫県立大学)
 ・浜田 麻里 (京都教育大学) (敬称略)